

# 2015年3月期第3四半期決算(累計) プレゼンテーション資料

2015年1月  
大阪ガス株式会社

# I. 15.3期第3四半期実績

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています。下記のURLで、決算短信、アニュアルレポート、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。<http://www.osakagas.co.jp/ir/>

「見通し」に関する注意事項 : このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略等が含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

ガス販売量に関する注記 : 全て、基準熱量を45MJ/m<sup>3</sup>として、表記しています。

連結ガス販売量に関する注記 : 名張近鉄ガス・豊岡エネルギー・新宮ガスは12月決算です。

四半期表記に関する注記 : 特に断りのない限り、「四半期」は「四半期累計期間」を表します。

本日は、お忙しいところ、当社の電話会議説明会にご参加いただきまして、ありがとうございます。

ただ今から、2015年3月期 第3四半期決算について、当社のホームページに掲載しておりますプレゼンテーション資料に沿って、簡単にご説明させていただきます。

# 15.3期第3四半期決算のポイント

## ■ 概況(連結)

売上高	ガス販売量が減少したものの、LNG価格の上昇に伴い、原料費調整制度に基づくガス販売価格が上昇したことなどから、 <b>前期比2.0%(209億円)増収の10,553億円。</b>
経常利益	ガス事業における費用が増加したことなどから、 <b>前期比10.8%(70億円)減益の581億円。</b>
四半期純利益	当期に投資有価証券売却益を計上したことや、前期に米国上流事業で減損損失を計上したことなどにより、 <b>前期比230.7%(331億円)増益の475億円。</b>

## ■ ガス販売量(個別)

家庭用	ほぼ前期並みの <b>1,269百万m<sup>3</sup></b> 。
商・公・医療用	夏場の低気温による冷房需要の減少などにより、 <b>前期比5.6%(61百万m<sup>3</sup>)減少の1,041百万m<sup>3</sup></b> 。
工業用	お客さま設備の稼働が減少したことや、一部IPPの契約満了に伴い、大口ガス供給→自家使用にカウント方法を変更したなどにより、 <b>前期比3.4%(109百万m<sup>3</sup>)減少の3,085百万m<sup>3</sup></b> 。

## ■ その他

通期業績見通し | **10月公表の見通しを据え置き。**

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

3

資料の3ページをご覧ください。

2015年3月期 第3四半期は、前年同期と比較して増収、経常利益は減益、四半期純利益は増益の決算となりました。

連結売上高は、ガス販売量が減少したものの、LNG価格の上昇に伴い、ガス販売価格が上昇したことなどにより、前期と比べて2.0%、209億円増収の10,553億円となりました。

連結経常利益は、ガス事業において、減価償却費や諸経費が増加したことなどから、前期と比べて10.8%、70億円減益の581億円となりました。

連結四半期純利益は、当期に大阪府都市開発株式会社の株式を売却し、投資有価証券売却益を計上したことや、前期に米国上流事業で減損損失を計上したことなどから、前期と比べて230.7%、331億円増益の475億円となりました。

大阪ガス個別のガス販売量について、家庭用は、ほぼ前期並みの、12億6,900万m<sup>3</sup>となりました。

商・公・医療用は、夏場の気温が低く推移し、冷房需要が減少したことなどにより、前期を5.6%下回る、10億4,100万m<sup>3</sup>となりました。

工業用は、お客さま先の設備の稼働が減少したことや、関係会社が行う一部のIPP事業での契約満了を受けて、大口ガス供給から自家使用にカウント方法を変更した影響などにより、前期を3.4%下回る、30億8,500万m<sup>3</sup>となりました。

なお、通期の業績見通しにつきましては、10月に公表しました予想値を据え置きといたします。

# 15.3期第3四半期ガス販売実績

45MJ/m <sup>3</sup>		A. 15.3期3Q	B. 14.3期3Q	前期差 A-B	前期比 (A-B)/B
個 別	お客さま数(千件)	7,171	7,111	+59	+0.8%
	新設工事件数(千件)	70	63	+7	+11.0%
	家庭用1戸当り販売量(m <sup>3</sup> /月)	24.0	24.1	-0.1	-0.5%
	家庭用	1,269	1,269	+0	+0.0%
	商・公・医療用	1,041	1,102	-61	-5.6%
	工業用	3,085	3,193	-109	-3.4%
	業務用計	4,126	4,296	-170	-4.0%
	他ガス事業者向け	336	332	+4	+1.1%
	(うち大口供給)	(3,539)	(3,683)	(-144)	(-3.9%)
	ガス販売量合計(百万m <sup>3</sup> )	5,731	5,897	-166	-2.8%
連結ガス販売量		5,755	5,920	-165	-2.8%

資料の4ページに、ただ今ご説明しました  
 ガス販売実績をまとめています。

連結ガス販売量は、  
 前期を2.8%下回る、57億5,500万m<sup>3</sup>となりました。

工業用分野では、引き続きお客さまの動向を注視しつつ、  
 コージェネレーションの普及拡大や、燃料転換などによる  
 需要開発を進めていきます。

# 15.3期第3四半期実績 I

連結:億円					( )内は連単倍率		備考
	A. 15.3期3Q	B. 14.3期3Q	前期差 A-B	前期比 (A-B)/B			
売上高	(1.22) 10,553	(1.23) 10,343	+209	+2.0%		ガス販売価格の上昇等	
営業利益	(1.65) 534	(1.74) 595	-60	-10.2%		ガス事業での費用増等	
経常利益	(1.50) 581	(1.61) 652	-70	-10.8%			
四半期純利益	(1.27) 475	(2.64) 143	+331	+230.7%		当期に投資有価証券売却益、 前期に減損損失を計上等	
		A. 15.3期3Q	B. 14.3期3Q	前期差 A-B			
スライド差損益	億円	-39	-121	+81			
原油価格	\$/bbl	103.2	109.5	-6.2			
為替レート	円/\$	106.7	99.4	+7.4			
連結子会社数		146	130	+16			

15.3期3Q原油価格実績は、12月上中旬値までの平均。

Design Your Energy 夢ある明日を  


資料の5ページに、決算数値をまとめていますので、ご確認下さい。

第3四半期の実績については、  
 円安の進行により、ガス事業でスライド差損が拡大し、  
 想定を若干下回る利益水準で進捗しています。  
 今年1月からの小口ガス料金改定による減益影響などもありますが、  
 足元までの原油安傾向を踏まえると、  
 第4四半期にはスライド差益が見込まれ、  
 これらの減益影響を相殺できるとみられることなどから、  
 冒頭で触れました通り、通期の業績見通しにつきましては、  
 10月に公表した予想値を据え置きといたします。

# 15.3期第3四半期実績 II

連結:億円	A. 15.3期 3Q末	14.3期 3Q末	B. 期末	A-B	備考
総資産	17,807	16,821	16,683	+1,124	
自己資本	8,340	7,733	7,989	+350	
有利子負債	6,553	6,385	5,735	+817	投資・運転資金に充当
在籍人員	21,566	20,370	21,250	+316	
自己資本比率	46.8%	46.0%	47.9%	-1.1%	
D/E比率	0.79	0.83	0.72	+0.07	

	A. 15.3期3Q	B. 14.3期3Q	A-B	備考
設備投資	826	873	-47	前期に基幹導管が開通
減価償却費	647	620	+26	
フリーキャッシュフロー	258	388	-130	たな卸資産の増加等

フリーキャッシュフロー＝  
営業活動によるキャッシュフロー（税引後営業利益＋減価償却費等非現金支出）－通常の設備投資による支出。

Design Your Energy 夢ある明日を  
OSAKA GAS

6

資料の6ページには、資産・負債項目などの実績をまとめています。

設備投資は、国内での発電所建設投資や、上流事業投資、LNG船の建造などを中心に進めましたが、前期に三重・滋賀ライン、姫路・岡山ラインが開通したことなどから前期を47億円下回る826億円となりました。

7ページ以降には、さらに詳細な決算の差異分析資料、セグメント別情報、投資の進捗状況、通期の見通しなどの資料を付けておりますので、後ほどご覧下さい。

以上で、2015年3月期 第3四半期決算についてのご説明を終わらせていただきます。

なお、本年4月1日付で、現・社長の尾崎裕が代表取締役会長に就任し、現・副社長の本荘武宏が代表取締役社長に就任することを昨日発表致しました。就任に際し、本荘は「尾崎が策定した長期経営ビジョン「Field of Dreams 2020」、中期経営計画「Catalyze Our Dreams」をしっかりとやり遂げ、大阪ガスグループがグローバルな総合エネルギー企業として発展することを目指す」と決意を述べています。今後とも皆さまのご理解・ご支援を賜ればと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

## II. 15.3期通期見通し

# 15.3期ガス販売見通し

- 10月発表時の見通しから、変更ありません。

45MJ/m <sup>3</sup>		A. 15.3期 見通し	B. 14.3期 実績	前期差 A-B	前期比 (A-B)/B
個 別	お客さま数(千件)	7,162	7,136	+27	+0.4%
	新設工事件数(千件)	106	102	+3	+3.4%
	家庭用1戸当り販売量(m <sup>3</sup> /月)	31.2	31.3	-0.1	-0.2%
	家庭用	2,203	2,198	+5	+0.2%
	商・公・医療用	1,449	1,528	-79	-5.2%
	工業用	4,200	4,329	-129	-3.0%
	業務用計	5,649	5,856	-208	-3.5%
	他ガス事業者向け	478	469	+9	+1.9%
	(うち大口供給)	(4,819)	(4,988)	(-169)	(-3.4%)
	ガス販売量合計(百万m <sup>3</sup> )	8,330	8,524	-194	-2.3%
連結ガス販売量	8,361	8,554	-194	-2.3%	

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

# 15.3期見通し I

- 10月発表時の見通しから、変更ありません。( )内は連単倍率

連結:億円	A. 15.3期 見通し	B. 14.3期 実績	前期差 A-B	前期比 (A-B)/B
売上高	(1.24) 15,815	(1.24) 15,125	+689	+4.6%
営業利益	(1.58) 980	(1.64) 993	-13	-1.4%
経常利益	(1.48) 1,000	(1.53) 1,060	-60	-5.7%
当期純利益	(1.30) 740	(1.67) 417	+322	+77.3%
SVA ※1	415	30	+385	+1285.6%
スライド差損益 億円	36	-205	+242	
原油価格 ※2 \$/bbl	103.7	110.0	-6.3	
為替レート ※2 円/\$	107.6	100.2	+7.4	

※1 SVA(Shareholders' value added)=NOPAT- 投下資本×WACC

※2 原油価格および為替レートのみ、2014年10月～12月実績を反映した見通しに置き換えています。  
2015年1月～3月の前提は、原油価格105\$/bbl、為替レート110円/\$

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

## 15.3期見通し II

- 10月発表時の見通しから、変更ありません。

連結:億円	A. 15.3期末見通し	B. 14.3期末実績	A-B
総資産	17,899	16,683	+1,215
自己資本	8,327	7,989	+337
有利子負債	6,604	5,735	+868
在籍人員	21,448	21,250	+198
自己資本比率	46.5%	47.9%	-1.4%
D/E比率	0.79	0.72	+0.08
	A. 15.3期見通し	B. 14.3期実績	A-B
設備投資	1,280	1,241	+39
減価償却費	853	838	+15
フリーキャッシュフロー	898	1,131	-233
ROA	4.3%	2.6%	+1.7%
ROE	9.1%	5.4%	+3.7%
EPS (円/株)	35.6	20.0	+15.5
BPS (円/株)	400.1	383.9	+16.2

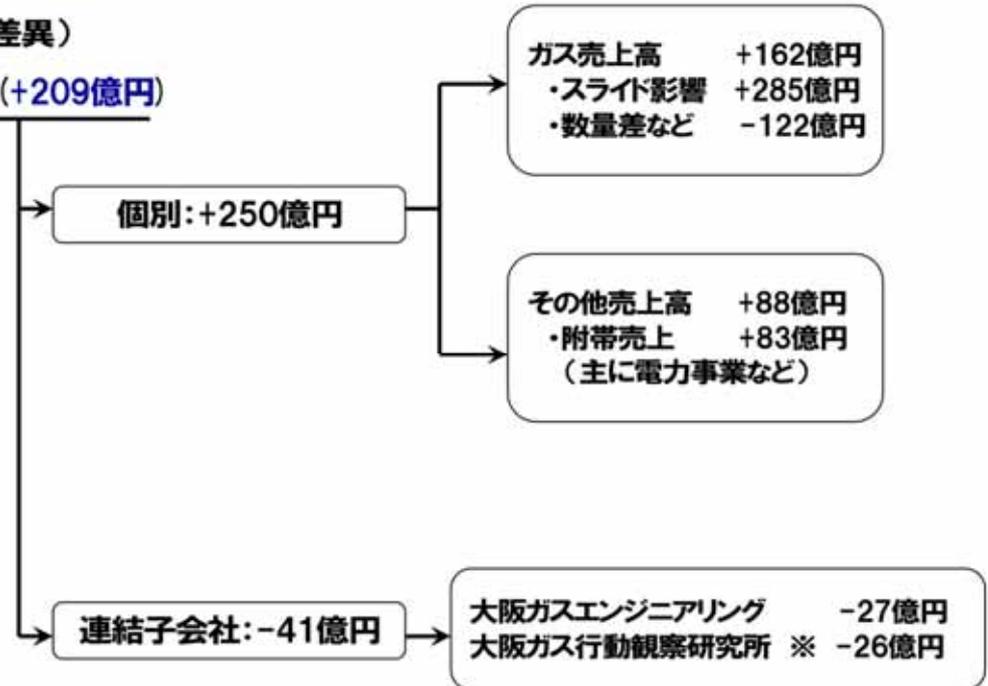
FCF=営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)－通常の設備投資による支出。Design Your Energy 夢ある明日を

### III. 参考資料

# 15.3期第3四半期の売上高差異(対前年同期)

14.3期3Q → 15.3期3Q (差異)

10,343億円 10,553億円 (+209億円)



※ 2014年6月にフリーペーパー事業等を売却し、エルネットより社名変更

Design Your Energy 夢ある明日を

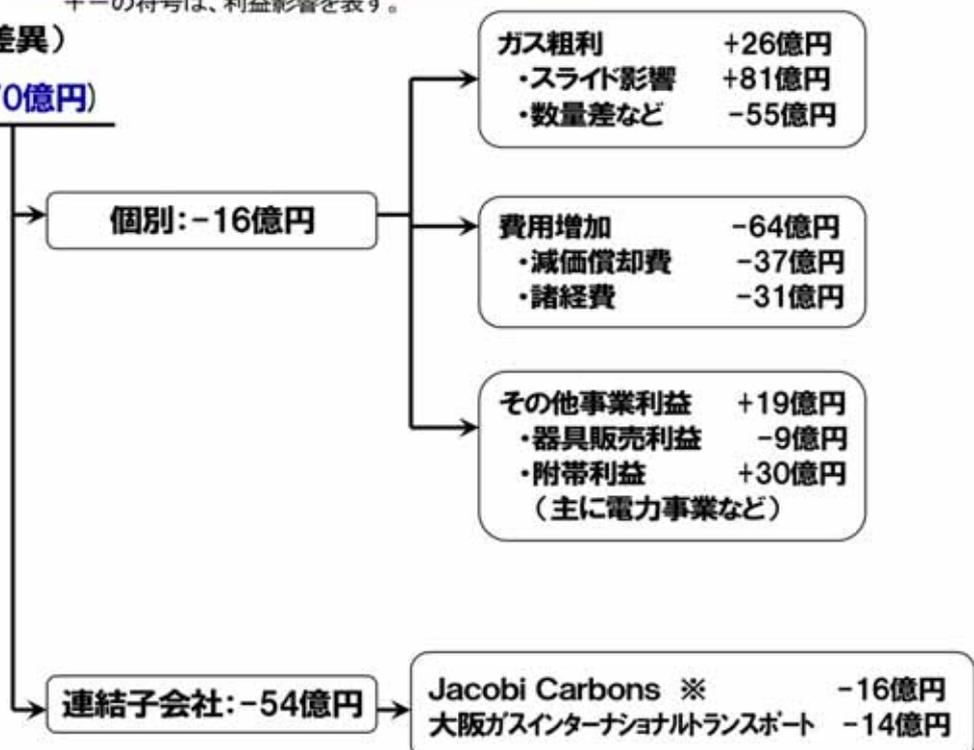
OSAKA GAS

# 15.3期第3四半期の経常利益差異(対前年同期)

+-の符号は、利益影響を表す。

14.3期3Q → 15.3期3Q (差異)

652億円    581億円 (-70億円)



※ 2014年1月に買収した活性炭事業会社のれん償却費、棚卸資産のステップアップ(時価評価に伴う増加)による一時的費用増等を含めた連結利益への影響額を記載

Design Your Energy 夢ある明日を

# 15.3期第3四半期セグメント別実績

単位:億円	売上高		セグメント利益(*)		備考
	15.3期 3Q	14.3期 3Q (**)	15.3期 3Q	14.3期 3Q (**)	
ガス	7,778	7,638	84	127	売上:ガス販売価格の上昇 利益:ガス事業における費用増
LPG・電力・ その他エネルギー	1,746	1,766	320	319	利益:電力事業で増加、 LPG事業で減少
海外エネルギー	102	95	83	58	利益:米国上流事業 減価償却費減
ライフ&ビジネス ソリューション	1,416	1,359	99	129	売上・利益:Jacobi Carbons新規連結 の影響(一時的費用増等により減益)
消去または全社	-490	-516	18	19	
連結	10,553	10,343	607	653	

<再生可能エネルギー事業の取扱い>

14.3期まで:「環境・非エネルギーセグメント」→15.3期以降:事業内容に応じ、「LPG・電力・その他エネルギーセグメント」「海外エネルギーセグメント」に移管

<セグメント名称の変更>

15.3期以降:「環境・非エネルギーセグメント」の名称を「ライフ&ビジネス ソリューションセグメント」に変更

(\*)セグメント利益=営業利益+持分法投資損益、(\*\*)14.3期実績を上記新基準に組み替えた値

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

# 15.3期セグメント別見通し

- 10月発表時の見通しから、変更ありません。

単位:億円	売上高		セグメント利益 <sup>(*)</sup>		備考
	15.3期 見通し	14.3期 実績 <sup>(**)</sup>	15.3期 見通し	14.3期 実績 <sup>(**)</sup>	
ガス	11,400	11,195	345	320	売上:ガス販売単価の上昇 利益:スライド差損が解消
LPG・電力・ その他エネルギー	3,010	2,610	420	453	売上:電力事業、LNG販売等で増加 利益:電力事業、LPG事業等で減少
海外エネルギー	170	133	95	82	利益:米国上流事業 減価償却費減
ライフ&ビジネス ソリューション	2,120	1,965	170	188	売上・利益:Jacobi Carbons新規連結 の影響(一時的費用増等により減益)
消去又は全社	-885	-779	20	27	
連結	15,815	15,125	1,050	1,072	

<再生可能エネルギー事業の取扱い>

14.3期まで:「環境・非エネルギーセグメント」→15.3期以降:事業内容に応じ、「LPG・電力・その他エネルギーセグメント」「海外エネルギーセグメント」に移管

<セグメント名称の変更>

15.3期以降:「環境・非エネルギーセグメント」の名称を「ライフ&ビジネスソリューションセグメント」に変更

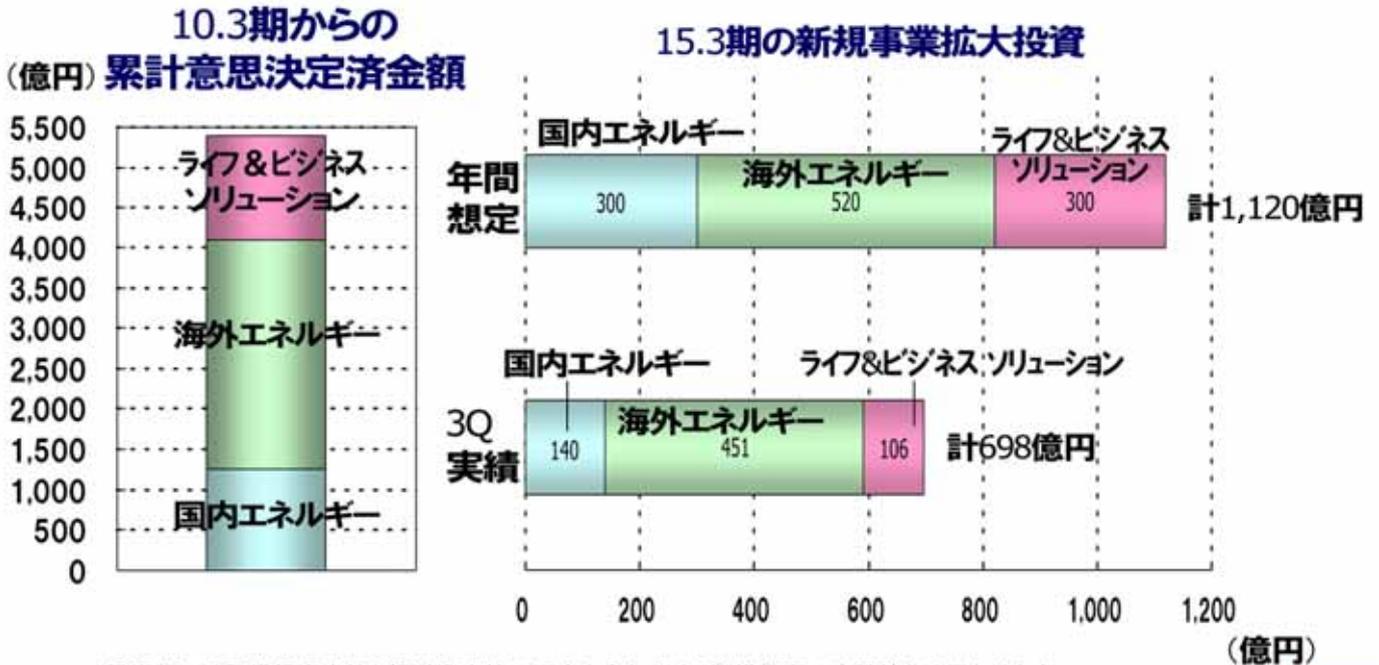
(\*)セグメント利益=営業利益+持分法投資損益、(\*\*)14.3期実績を上記新基準に組み替えた値

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

# 15.3期第3四半期新規事業拡大投資実績

- 10.3期からの累計意思決定済金額は5,400億円(10.3期～21.3期計画額の47%)。
- 15.3期の第3四半期までの投資実施額は698億円(年間計画額の62%)。



投資額には設備投資案件と投融資案件の両方を含むため、設備投資の実績値とは異なります。

Design Your Energy 夢ある明日を



# ガス販売量の前年同期差異分析

	家庭用	商公医療用	工業用
調定件数	+0.5%	--	--
検針日数影響	+0.3%	--	--
気温影響	+0.4%	-3.7% (検針日数影響を含む)	--
需要開発	} -1.2%	+1.6%	+1.2%
稼動増減その他		-3.5%	-4.6%
合計	+0.0%	-5.6%	-3.4%

# 15.3期第3四半期月次ガス販売の推移

前年同月比 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	
家庭用	99.9	91.5	101.6	99.8	105.4	108.8	105.8	103.9	97.1	100.0	
商・公・ 医療用	98.0	95.0	95.8	94.9	93.5	90.7	93.4	96.6	94.4	94.4	
工業用	97.4	97.4	101.6	93.3	94.7	95.8	96.0	96.0	97.7	96.6	
業 種 別	機械	92.3	93.3	104.3	92.1	92.5	97.4	95.2	87.0	100.6	94.9
	金属	102.3	101.7	110.4	100.8	100.2	98.8	98.6	96.0	97.3	100.6
	ガラス	90.9	89.6	87.2	84.0	90.1	88.9	87.8	88.6	98.2	89.3
	化学	95.6	97.3	100.7	94.0	100.2	96.6	100.1	98.7	103.1	98.4
	食品	99.0	99.4	102.5	97.4	98.3	102.5	99.9	98.8	100.3	99.8
卸	91.5	97.3	121.5	94.3	99.0	103.6	102.4	91.0	113.5	101.1	
計	98.0	95.3	101.6	94.6	95.9	96.5	97.5	97.7	97.9	97.2	

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

# 年度見通しに対するリスク要因

## ■ 気温・水温

- 気・水温1度の変化に対して、家庭用ガス販売量は、春秋期約5%・夏期約6%・冬期約4%変動する可能性がある。

## ■ 原油価格

- LNG価格が原油価格にリンクすることなどから、原油価格+1\$/bblの変化に対して、今年度第4四半期の経常利益は-0.1億円変動する可能性がある。

## ■ 為替レート

- LNG価格が米ドル・円の為替レートにリンクすることなどから、為替レート+1円/\$の変化に対して、今年度第4四半期の経常利益は-10億円変動する可能性がある。

## ■ 原料費

- 原料費調整制度によって、中長期的には原料費の変動はガス料金に転嫁されるが、反映までのタイムラグや原料調達先の構成によって、業績に影響を与える可能性がある。

## ■ 金利

- 金利1%の変動に対して、今年度の連結営業外費用が年間7億円変動する可能性がある。